

財政健全化最優先で

旧町村の切り捨て攻撃か？

「地域まちづくり未来事業」が失われ、旧町村に予算を決める権限がなくなつた今、財政健全化を最優先とする「守りの走り」で、旧町村切り捨てが問われます。

本所・財政課の査定

藤島地域振興懇談会（委員長・成澤剛出羽商工会長）の令和8年度第1回懇談会が21日、藤島庁舎3階大会議室で開かれました。

始めに「藤島地域義務教育学校の開校準備委員会」の報告がされ、委員からは「学校統廃合で住民の寂しくなる」との思いもあり、将来に希望の持てる学校にしてほしい」との意見が数人から出されました。

説明・協議では、藤島地域の令和8年度主要事業と地域振興事業が話されました。

昨年度までの「地域まちづくり未来事業」が、「地域振興事業」に名称が変わり、予算と権限はすべて本所管轄になり、庁舎には予算を決める権限が失われ、本所・財政課の査定しだいです。

委員からは、公共施設の修理・修繕が進ま

ない、開業26年の長沼温泉ぽつぽの湯の建物の老朽化や、藤島地区活動センターのトイレ水道が壊れているなどが訴えられました。

藤島のシンボルとなつたイルミネーションは、予算の拡充がされず、クラウドファンディングで資金を募って頑張っている状況も話されました。

夏まつりの開催は、来年度から廃止の方向で検討され、委員からは、予算を削るのではなく、ふじの花まつりや秋まつりの拡充に回すべきとの意見です。

藤島庁舎では、義務教育学校の整備が優先され、文厚エリアのあり方は先延ばしとなり、学校周辺の施設は白紙の状態です。

義務教育学校がどんな施設になるかは現在基本計画・基本設計の策定中で、資材高騰下の約130億円もの巨額な投資に、本所・財政課の査定が厳しくなるのは確実です。



藤島駅の無人化攻撃

鶴岡市は「財政健全化最優先」の方針のもとに、旧町村の切り捨てに向かっているかのようです。

目前の大きな問題はJR藤島駅の無人化の攻撃です。

藤島駅の業務員は、ふじしま観光協会の職員として女性2人が勤務し、市はこれまで業務委託料543万6千円を協会に支出してきました。

藤島文化スポーツ事業団職員のスポーツインストラクターに対しても、フルタイムからパート勤務に、補助金421万円の削減を本所から要求されており、どちらも職員の生活がかかった問題です。

藤島庁舎では、駅の利用者にアンケートを行い、インストラクターの健康指導の成果を力に、存続の要望を本

ふるさと賛歌

鈴木重雄 八色木

川の氾濫で出来た
オッポレ沼

藤島川は黒瀬川と笹川が古郡橋の前で合流し、藤島元町を貫流して、別れ口下流から左に迂回。豊栄・西川原を経て、長沼と三川町土口を境にして、さらに落合で京田川と合流。最上川の河口から数km手前の左岸で最上川に合流し日本海に注ぐ。

昭和初期までは、赤川は京田川と共に最上川に合流していたが、昭和28年に赤川と最上川・京田川が完全に分離された。

藤島下町の別れ口の少し下流の桑畑は今はなくなたが、山和製材、阿部コンクリート、日本海アスコン、石庄建設藤島支店など工業地帯になった。当時は、立谷沢発電所から酒田工業団地まで送電線を管理する吊橋があった。関係者以外



藤島川の氾濫で土砂が押し上げられ、堤防を越えた所に沼が出来た、と水害予想地形分類図を見ながら説明された。今は畑地で、その形跡を想像するしかないが、この下流一帯の字名は豊栄「突上」で、洪水地名である。よく見ると、対岸の平形より高台になっている。

所に伝えるとしています。

2つのタイプ

自治体の首長には2つのタイプがあるとい

います。一つは、財政健全化を最優先とする「守り

は使用禁止であつたが、子ども達はゆさゆさと揺れる橋を渡って遊んでいたし、なかには吊橋から飛び込んで川遊びをする強者もいた。この橋の下流から川が左方向に湾曲して、一帯が高台になった所に「オッポレ沼」が出来たという。

平成11年7月、東田川文化記念館主催の「庄内の大地・地形の変遷」の講座があり、山形大学人文学部教授・阿子島功先生が現地研修された。

の走り」で、住民からの要望に、財政的に厳しいなどを理由に見送ったり、最小限のことだけ行いう市政運営です。もう一つは、課題を解決するために施策を考え、財源確保のために国、県に働きかけ、自主財源の確保に努める「攻めの走り」です。

渡前子ども獅子踊り今昔物語 米と獅子の郷(さと) ①

渡前獅子踊り保存会 太田 功

渡前獅子踊りの起源は定かではないが、1827年には踊られていたという記録がある。江戸時代のことである。日本史を紐解いてみ

た。その百年ほど前は享保の大飢饉、その後も宝暦の飢饉など、冷害などにより度々不作が続き、各地で一揆が多発した。



8月2日のふじしま夏祭り出演に向け猛練習

一揆禁止令が出されても、自然の猛威は何度もやってきて、農民を苦しめた。特に天明の大飢饉は、東北地方での被害が甚大で、異常気象と火山活動による農作物の凶作は6年も続いたという。

その後、幕府は飢饉に備えて備蓄米である「囲い米」制度を全国の大名に強制。1万石あたり50石を備蓄させた。

江戸町民からは七分積金として備蓄用に金を集めていて、飢饉対策としては素晴らしい制度とされたが、長続きせず、松平定信もほ

どなく失脚した。

いつの世も、その場しのぎの政策は長続きしない。

さて今の時代はどうであろうか。

渡前小の子ども獅子踊りは、8月2日のふじしま夏祭り出演に向け猛練習している。4、5年生13人による獅子団である。

「お米がたくさん穫れますように。地域みんなが幸せに暮らせませうように。そんな願いを込めて、渡前では今から200年も前から獅子踊りを20日間も行

っていました」。

踊りの前に児童が口上で述べる内容の一部で、時には司会がナレーションする。

200年前の踊りは、田畑を荒らし回る動物に加え、自然の猛威をやり過ごしたいと必死の祈願の奉納踊りであったはずだが、その6年後、天保の大飢饉につながるヤマセという冷害や大雨被害が度重なる不運がまいおりてくる。悪疫は退散してくれなかった。

…(つづく)



わかりやすい国会を

これって民主議会なの？「赤信号もみんなで渡れば怖くない」の類じゃないですか。え・なんのことかつかってか。

国会の状況ですよ。

▲悪法も法だからと開き直りますが、理屈にあいいますか？国旗がどうなった時どんな処罰になるのですか・が、不明のままですよ。何のための処罰法？どんなことが第1号に？

▲皇室典範を変えた。

皇室典範は天皇を選ぶことに関するものでしょ。憲法を読むことがあっても皇室典範まではネー。でも、国民の統合の象徴を選ぶんだから、それに相応しい決まり方でないと。つまり、象徴を選ぶに相応しい賛成数でないと。

▲党の数からいえば6つでしたか・反対は賛成の党の中にも部分的に賛成でない人たちが

蛍

蛍

城貞(藤の花)

候何時節映簾青
七月初迎大暑庭
好是日斜風定後
冷螢墮水光熒熒

何れの時節を候つか簾に映じて青し
七月 初めて迎える大暑の庭
好し是れ日 斜めにして風 定まる後
冷螢 水に墮ちて光り熒熒たり

簾にうつって、青い光を放つホタルを見るのは、何時ごろまでまつのかな。

七月暑い夏の時期、大暑になった庭先でさて、日が傾き風が収まった後に冷たく、ほのかな光を放つホタルが、水面に落ちるようにゆらゆらと舞うのだ。

候Ⅱまつ。むかえる。

時節Ⅱ季節。機会。

映Ⅱうつって光る。

大暑Ⅱ七月二十三日、二十四日。

好是Ⅱさて。

冷螢Ⅱ冷たく光りを放つホタル。

墮Ⅱ落ちる。

熒熒Ⅱほのかに光る。

